

# 令和6年度 定時社員総会

日 時 令和6年5月16日(木)

15:30 ~ 17:00

場 所 航空会館 501 & 502 会議室

## 一般社団法人 日本ビジネス航空協会

〒100-8691 東京都千代田区内幸町2-1-1

双日株式会社 内

Tel:03-6871-5107 Fax:03-6871-3246

## 令和6 年度定時社員総会議事次第

令和6 年5 月16 日

日 時 : 令和6 年5 月16 日(木) 15 時 30 分~17 時 00 分

場 所 : 航空会館 501 & 502 会議室

1. 開会の辞
2. 議長選出
3. 出席社数の確認
4. 議題(目的事項)

### 決議事項

- 第1 号議案 令和5 年度計算書類承認の件  
(第1 号議案 資料1、2、3、4、5)
- 第2 号議案 理事、監事選任の件  
(第2 号議案 資料1)

### 報告事項

- (1) 令和5 年度事業報告の件  
(報告事項(1)資料1、2)
- (2) 令和6 年度事業計画及び予算の件  
(報告事項(2)資料1、2)

5. その他
6. 閉会

## 令和5年度 正味財産増減計算書

自令和5年4月1日 至令和6年3月31日

一般社団法人日本ビジネス航空協会

(単位：円)

科目	当年度(通年)	当年度予算(通年)	対予算比	前年度(通年)	対前年度増減
I 一般正味財産増減の部					
1 経常収入の部					
① 入会金収入	50,000	100,000	50%	0	50,000
② 会費収入					
1) 正会員会費収入	10,783,500	10,804,500	100%	10,804,500	▲21,000
2) 賛助会員会費収入	262,500	262,500	100%	367,500	▲105,000
3) 個人会員会費収入	63,000	63,000	100%	73,500	▲10,500
③ 事業収入					
1) 調査・研究	0	0	0%	0	0
2) 普及・啓発					
a. ABACE・NBAA	0	0	0%	0	0
b. IS-BAO監査	0	0	0%	0	0
c. パナー広告	700,000	700,000	100%	625,000	75,000
④ 寄付金収入	0	0	0%	0	0
⑤ 雑収入					
1) 懇親会会費収入	259,000	450,000	58%	0	259,000
2) 受取利息	238	300	79%	220	18
3) 雑収入	0	0	0%	100,000	▲100,000
4) 過年度会費収入	0	0	0%	0	0
経常収入計	12,118,238	12,380,300	98%	11,970,720	147,518
2 経常支出の部					
① 事業費					
1) 調査・研究事業	0	1,000,000	0%	206,453	▲206,453
2) ABACE・NBAA	0	500,000	0%	0	0
3) IS-BAO監査	0	0	0%	0	0
4) マーケティング関連	328,031	5,000,000	7%	435,600	▲107,569
② 管理費					
1) 委託費					
a. 業務委託費	3,560,000	4,000,000	89%	3,240,000	320,000
b. 事務局費	303,600	310,000	98%	303,600	0
2) 旅費交通費					
a. 日常交通費	307,351	200,000	154%	129,559	177,792
b. 国内出張費	761,460	800,000	95%	847,242	▲85,782
c. 海外出張費	270,365	1,000,000	27%	0	270,365
3) 通信運搬費					
a. 電話/ネット料	201,905	250,000	81%	212,973	▲11,068
b. 郵便/輸送費	15,115	30,000	50%	21,417	▲6,302
4) 会議費					
a. 総会関連費	639,594	500,000	128%	162,800	476,794
b. 会議費	317,615	600,000	53%	191,378	126,237
5) 交際費	392,120	500,000	78%	421,544	▲29,424
6) 会費					
a. IBAC年会費	732,628	570,000	129%	555,168	177,460
b. その他会費	230,000	270,000	85%	240,000	▲10,000
7) 法務関連費	82,510	100,000	83%	86,910	▲4,400
8) 公租公課	70,036	72,000	97%	70,033	3
9) IT関連費	162,693	200,000	81%	111,364	51,329
10) 消耗品費	10,342	60,000	17%	57,477	▲47,135
11) 印刷製本費	21,080	130,000	16%	81,560	▲60,480
12) 図書新聞費	118,800	130,000	91%	118,800	0
13) 水道光熱費	8,942	12,000	75%	7,920	1,022
14) 地代家賃	998,100	1,100,000	91%	1,075,100	▲77,000
15) 諸手数料	93,380	150,000	62%	79,245	14,135
16) 雑費	158,290	250,000	63%	132,000	26,290
17) 減価償却費	0	0	0%	0	0
18) 貸倒損失	0	0	0%	52,500	▲52,500
経常支出計	9,783,957	17,734,000	55%	8,840,643	943,314
当期経常支出差額	2,334,281	▲5,353,700		3,130,077	▲795,796
一般正味財産期首残高	17,957,543	17,957,543		14,827,466	3,130,077
一般正味財産期末残高	20,291,824	12,603,843	161%	17,957,543	2,334,281
II 指定正味財産増減の部					
指定正味財産増減額	0	0		0	0
指定正味財産期首残高	0	0		0	0
指定正味財産期末残高	0	0		0	0
正味財産期末残高	20,291,824	12,603,843	161%	17,957,543	2,334,281

令和6年3月31日

## 令和5年度 貸借対照表

自令和5年4月1日 至令和6年3月31日

一般社団法人日本ビジネス航空協会

(単位：円)

科目	当年度(通年)	前年度(通年)	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	21,538	6,422	15,116
預金	20,799,884	18,393,821	2,406,063
未収入金	0	0	0
前払金	0	0	0
立替金	0	0	0
前払費用	82,500	82,500	0
流動資産合計	20,903,922	18,482,743	2,421,179
2 固定資産	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	20,903,922	18,482,743	2,421,179
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	223,358	119,295	104,063
未払費用	388,740	405,905	▲ 17,165
前受金	0	0	0
流動負債合計	612,098	525,200	86,898
2 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	612,098	525,200	86,898
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産	20,291,824	17,957,543	2,334,281
一般正味財産合計	20,291,824	17,957,543	2,334,281
正味財産合計	20,291,824	17,957,543	2,334,281
負債及び正味財産合計	20,903,922	18,482,743	2,421,179

令和 5 年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書

令和 6 年 4 月 22 日

貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書に記載する特記事項無し

令和6年4月22日

一般社団法人日本ビジネス航空協会  
代表理事 会長 岡田 圭介 殿

監事 矢野 正登



監事 吉川 史樹



監査報告書の提出について

私たち監事は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第99条第1項の規定に基づき監事報告書を作成しましたので、別紙のとおり提出いたします。

以上

## 監査報告書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの第12期事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、以下のとおり報告致します。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類及びその附属明細書について検討致しました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和6年4月22日

一般社団法人日本ビジネス航空協会

監事 矢野 正登



監事 吉川 史樹



## 第2号議案 理事・監事選任の件

当法人の理事（18名）及び監事（2名）の全員は定款の規定により本定時社員総会の終結をもって任期満了となります。つきましては以下の理事候補（新任8名、再任10名）及び監事候補（新任1名、再任1名）をそれぞれ理事および監事として選任することにつき、ご承認をお願いするものであります。

理事及び監事の候補者は、以下の通りであります。

## 理事候補者

(敬称略・五十音順)

No.	新任/再任	所属	氏名
1	再任	双日(株) 航空・社会インフラ本部 航空事業部 部長	新井 健太
2	新任	日本ビジネス航空協会	伊東 裕
3	再任	日本ビジネス航空協会	岩戸 一郎
4	再任	エアバス・ジャパン(株) バイスプレジデント ビジネスディベロップメント	上田 真吾
5	再任	中日本航空(株) 常務取締役	鬼頭 祐二
6	再任	成田国際空港(株) 旅客ターミナル部 部長	高須 英一郎
7	新任	スイスポートジャパン(株) 代表取締役社長	多藝 紘一
8	再任	朝日航洋(株) 取締役 航空事業本部 運航担当	田代 一郎
9	新任	中部国際空港(株) 営業推進本部 空港事業部 運航支援グループ長	橘 啓介
10	新任	岡山航空(株) 企画業務室長	田中 俊光
11	再任	日本ビジネス航空協会	田村 和之
12	再任	JAPAN AVIATION SERVICE(株) 代表取締役会長	土屋 智義
13	新任	フジビジネスジェット(株) 代表取締役社長	遠矢 源太郎
14	新任	丸紅エアロスペース(株) 取締役 第三営業本部長	西川 博貴

15	再任	(株)ユニバーサル・アビエーション 代表取締役	東山 浩司
16	新任	三菱重工業(株) 民間機セグメント 営業推進部 部長	松田 隆
17	再任	ANA ビジネスジェット(株) 総務企画部 部長	松原 玲人
18	新任	JAL ビジネスアビエーション(株) 代表取締役社長	宮多 祐

監事候補者

(敬称略・五十音順)

No.	新任/再任	所属	氏名
1	新任	ANA ホールディングス(株) グループ経営戦略室 事業推進部 担当部長	福永 悟郎
2	再任	(株)ジャムコ 航空機整備・製造事業部 営業部長	矢野 正登

## 令和5年度事業報告書

令和6年4月22日

### (はじめに)

世界的に猛威を振るい、各方面に多大な影響を与えてきた新型コロナウイルス(COVID-19)が2類から5類に変更されたことを受けて、令和5年度は人流が活発になり、個人消費やインバウンド需要を中心に経済活動は回復の局面を迎えました。

ビジネスジェットを含む航空産業も回復の兆しを見せましたが、コロナ禍で顕在化した離職の影響は根強く、回復を支えるべき人材が不足するという新たな課題に直面致しました。また、世界情勢に目を向ければ、ウクライナ侵攻の継続/長期化に加え、イスラエル・パレスチナ問題の再燃、国内に目を向ければ、物価の上昇に賃上げが追い付いてこないなど、期待と不安が混在した1年でした。

このような状況下、我々JBAAはビジネスジェット業界が、アフターコロナの回復の流れに乗れる様に、昨年度に引き続きビジネスジェットの認知・理解を深めるマーケティング活動に関する取り組みを積極的に行いました。

委員会活動として、技術規制緩和フォローアップ委員会では、乗員資格の関連制度、連続式航空証明制度、および予備品証明制度廃止後の影響について、課題の抽出/明確化と、今後の取り組み方針の検討に取り組みました。空港グランドハンドリング委員会では、羽田空港N地区の駐機場不足の課題と、新千歳空港・関西地区・九州地区のフォローアップに取り組みました。

理事会、四役会は対面を基本とした形態に戻し、活発な議論を行う事が出来ました。また、一部Webでの参加も受け入れて、ハイブリット開催の利点も見えて参りました。

結果的には、令和5年のビジネスジェットの運航は、それまで最高であったコロナ前の令和元年を上回り、史上最高の実績を達成する事ができました。

### (令和5年度の実績報告)

#### 1. ビジネスジェット受入れ環境の改善に向けて

- ▶ ビジネスジェットとして使い勝手が良い首都圏空港を目指し、以下の取り組みを実施致しました。

##### <長期的対応>

- ・現在、羽田空港で行われているN地区の嵩上げ工事を好機と捉え、工事期間中だからこそ実現できる環境の整備、および工事完了後の割り当て駐機場数の増加や使い勝手の改善を目指した取り組みにつなげるべく、中長期的な動向についての把握に努めるとともに駐機場の配置の改善に関する提案も行いました。

- ・成田空港に関しては、「新しい成田空港構想」に際し、NAA 社長と JBAA 会長の懇談の場を持ち、構想の中で見直しが見込まれている「旅客便に対する空港施設のレイアウト見直し」に伴い実現可能となる「ビジネスジェットの駐機場の再配置やアクセスの改善」など、ビジネスジェットの利便性向上に向けた意見交換を実施致しました。
- ・羽田、成田以外の首都圏空港のビジネスジェット利用を見据えた活動として、

＜厚木基地の活用＞

ビジネスジェットの厚木基地利活用を実現するために必須となる「地域住民の理解を得ること」と、米軍との調整に関して必要となる「関連省庁、および周辺地域行政との連携」のための情報収集に努め、当協会として取り組み可能な活動を検討致しました。

＜横田基地の活用＞

東京都の「横田基地共用化推進担当課」と「東京都としての取り組み方針」、「横田基地がビジネスジェットを受け入れた際の活用/利点について」の意見交換を実施致しました。また、共用化に向けた基地周辺企業への調査の際には、当協会作成動画「空飛ぶ魔法の絨毯」の QR コードを提供し、ビジネスジェット利用の理解促進を図りました。

＜短期的対応＞

- ・羽田空港 N 地区の駐機場不足の課題に対して、駐機機数を増加させる取り組みとしての「マルチ(複数機)駐機」「格納庫利用」「駐機場運用ルールの変更」に取り組みました。嵩上げ工事に伴う割り当て駐機場の変更の影響や、運用ルールの細部の確認を進める中で顕在化した事業者毎に異なる要望や解釈の調整に多くの時間を必要としましたが、会員ニーズの正確な把握と課題解決に向けた着実な取り組みにつなげることが出来ました。
- アフターコロナの対応で、CIQ 体制を含む出入国手続きのあるべき姿の実現に向けた取り組みとして、UK の CIQ に関する調査を実施し、その中で導入の価値がある仕組みとして「リモート対応」に注目致しました。今後、日本国内での「検疫のリモート検査」の導入可否・効果の検討につなげて参ります。
- ビジネスジェットの所有者、事業者側に対しての「エンプティレーグ」や「新たなビジネスモデル」の実行・普及に向けた活動は、具体的な取り組みには至りませんでした。

2. 技術規制緩和に向けた取り組み(技術規制緩和フォローアップ委員会)

- 「乗員関連(機長認定、ATPL)」、「連続式耐空証明関連」、「予備品証明制度の廃止後の影響」等の課題に取り組み、課題の本質や、目指すべき方向性について議論を深めました。協会としての実施項目の具体化に向けて継続して取り組んで参ります。

3. 国内空港の利便性の向上に向けた活動(空港グランドハンドリング委員会)

- 新千歳空港において、過去の取り組みの中で抽出されていた課題や改善要望が、ビジネスジェット専用ターミナルの運用開始により解決、改善した事の確認を実施すると共に、開業時点では継続検討となっていた付随施設に関する運用ルールの策定に対し、事業者側の視点からの要望を提案致しました。
- 令和5年を通して、那覇空港の駐機場の充足に関する調査を行いました。運航実績をみてもコロナ前の数字には達しておらず、集計したデータ上からも明確に不足しているという結果は得られませんでした。
- 九州地区では、コロナ禍中にビジネスジェット専用施設が開業した鹿児島空港と、令和5年度に旅客便の新ターミナルが開業した熊本空港の課題のフォローアップを行い、事前に抽出/調整していた課題の多くが解決/改善されていることを確認致しました。
- 関西地区では、関西国際空港、神戸空港、八尾空港のフォローアップを行い、活動の進捗状況の確認と停滞気味であった取り組みの促進を図る事が出来ました。
- 関西国際空港の「玉響」に関する課題については、利用者側と運営側で課題の本質の確認と、解決の方向性の擦り合わせを行い、事業者側にて対応案を策定中。

#### 4. マーケティングの推進

- 九州地区をターゲットとした、「ポテンシャルユーザーとの意見交換」の実現を目指した取り組みを想定していましたが、日本におけるビジネスジェットの認知度の低さと、正しい理解がなされていない事から、年度の活動の中で、日本国内での「ビジネスジェットの認知度向上」の取り組みへ方針を変更し、次年度からの SNS(YouTube、X)を用いた発信ができる体制を整えました。
- 令和5年度、JBAA としての NBAA BACE への出展は行いませんでしたが、日本から出展した愛知県に対して協会としてサポートを実施しました。(ABACE 2023 は非開催)

#### 5. 会員に対する取り組み

- 「会員ニーズの把握」、「諸課題の解決に向けた継続的な取り組み」として、駐機数増加を目指した「N 地区運用ルール変更」の取り組みに際しては、会員(事業者)ニーズの正確な把握と、変更に伴う運用ルールの正確な理解を得るために、羽田空港で事業を行う各社を対象として会議体を開催し、きめ細かい議論と説明に努めました。
- 会員の多様化が進む中、「会員同士の相互理解」と「協会活動への参画意識の向上」を目指し、会報での「会員紹介」の実施と、その原稿投稿での参画意識向上を促進しました。

## 6. 会員の増減

- ・ 入会については断続的に問合せがあり、協会からも入会促進の取り組みを積極的に行って参りました。
- ・ <<新規入会(団体)>> 1社: Japan Biz Aviation(令和5年6月)入会
- ・ <<資格移行(団体)>> 1社: パシフィックコンサルタンツ賛助会員から正会員に移行
- ・ <<退会(団体)>> 3社: 三井住友海上火災保険(株) (正会員 今年度一杯で退会)  
日本エアロスペース(株) (正会員 今年度一杯で退会)  
長崎空港ビルディング (賛助会員 今年度一杯で退会)
- ・ 個人の正会員と賛助会員に増減はありませんでした。

結果、年度末に於いて会員数は以下の通りとなりました。

正会員(団体)	: 63 団体(±0 ) (入会 1 社、賛助会員から移行 1 社、退会 -2 社)
賛助会員(団体)	: 4 団体(-2 ) (退会 -1 社、正会員に移行 -1 社)
正会員(個人)	: 1 名(±0 )
賛助会員(個人)	: 4 名(±0 )

## 7. 庶務関連

### ・理事会

以下の通り、理事会を開催致しました。

23年度は新型コロナウイルスが2類から5類になったことを受け、対面形式を基本に開催致しました。(一部、出席者の状況を鑑み Zoom も併用)

- 第1回定例理事会 (令和5年4月21日)
- 第2回定例理事会 (令和5年5月19日)
- 第3回定例理事会 (令和5年8月3日)
- 第4回定例理事会 (令和5年10月26日)
- 第5回定例理事会 (令和5年12月7日)
- 第6回定例理事会 (令和6年2月8日)

### ・四役会

以下の通り、四役会を開催致しました。四役会についても対面形式を基本に開催し、活発な議論が行われました。

- 第1回四役会 (令和5年7月13日)
- 第2回四役会 (令和5年9月21日)
- 第3回四役会 (令和5年11月16日)
- 第4回四役会 (令和6年1月18日)
- 第5回四役会 (令和6年3月14日)

・委員会

以下の通り、各委員会を開催しました。

「技術規制緩和フォローアップ委員会」：（令和5年9月27日、及び令和6年3月27日）

「空港・グランドハンドリング委員会」：（令和5年9月28日、及び令和6年3月21日）

・事務局体制

5月の総会で岩戸事務局長が就任し、前事務局長の菊池氏は事務局アドバイザーとして引き続きJBAA業務に就いて頂きました。

以上

令和5年度事業報告の附属明細書

令和6年4月22日

事業報告の附属明細書に記載する特記事項無し

## 令和6年度事業計画書

令和6年4月22日

### (はじめに)

前年、令和5年のビジネスジェットの運航実績は、コロナ前の令和元年実績を上回り、過去最高を記録しました。一方で、国内外の政情不安や自然災害のリスク、Co2排出に対する風当たりや、航空従事者の人材不足など、好調な運航実績の陰には不安定な要素も見え隠れしています。また、1月2日に羽田空港で発生した事象から、羽田空港の利用に関する様々な意見も出されております。

この様な状況下においても、当協会は日本におけるビジネスジェットの普及・利用促進に向けて、広い視野をもって以下の取り組みを実施/継続して参ります。

首都圏におけるビジネスジェットの受け入れ環境に対しては、将来的なビジネスジェット専用の首都圏空港の実現を目指す長期的な対応と、直面している課題を速やかに解決/改善すべく行う短期的な対応の両輪で取り組んで参ります。

また、「技術規制緩和フォローアップ委員会」「空港グランドハンドリング委員会」の両委員会では、会員のニーズを的確に吸い上げながら、ビジネスジェット利用環境の底上げを目指して取り組んで参ります。

マーケティングの推進では、SNSを活用してビジネスジェットに関連した情報発信を行い、ビジネスジェットの認知度の向上を目指して取り組んで参ります。

会員各社、各位に於かれましては、協会活動に対し忌憚のないご意見を発信下さると共に、積極的な参画をお願い致します。

### (令和6年度の事業計画)

#### 1. ビジネスジェット受入れ環境の改善に向けて

- ▶ ビジネスジェットとしてニーズが高い首都圏空港に関して、以下の取り組みを行います。

##### <長期的対応>

- ・羽田空港の「N 地区嵩上げ工事完成後の環境変化」および「機能拡充や改善に向けた検討会」、成田国際空港の「新しい成田空港構想」の情報の把握に努め、ビジネスジェットの利便性向上に向けた将来的な戦略を追求していきます。
- ・羽田、成田以外の首都圏空港のビジネスジェット利用の実現可能性を含めて調査、研究を行います。

<短期的対応>

・羽田空港 N 地区の駐機場増に向けた取り組み、マルチ運用や自走アウトの可能性については、空港グランドハンドリング委員会で協会内部の意見集約と方向性の一致を図り、利便性を向上させた環境の早期実現を目指します。

- 出入国手続きに関する課題の改善/解決を目指し、検疫のリモート検査の実現に向けて取り組みを進めます。
- ビジネスジェットの所有者、事業者側に対し、エンプティレーグや新たなビジネスモデルの実行・普及に向けた現状(制度設計の要否や阻害要因の有無)の把握を行います。

2. 技術規制緩和に向けた取り組み(技術規制緩和フォローアップ委員会)

- 令和 6 年度も引き続き「乗員関連の課題(機長認定、ATPL)」、「連続式耐空証明関連」等の課題を整理し、ビジネスジェットの運航し易い環境作りに向けた取り組みを行います。

3. 国内空港の利便性の向上に向けた活動(空港・グランドハンドリング委員会)

- 課題抽出済みの地方空港に対し、未解決・未対応の課題の解決・改善を目指したフォローアップの活動を継続いたします。
- ビジネスジェットの利用実績が高い空港の中から、会員のニーズも加味し、新たに利便性向上に向けた取り組みの対象とする空港を抽出して参ります。
- 会員から上げられた新たに顕在化した課題についても対応を図って参ります。

4. マーケティングの推進(\*1)

- ビジネスジェットの「認知度向上」を目指し、SNS(YouTube、X 等)の投稿を開始します。
- ビジネスジェットの普及に寄与できる規制緩和や運用ルールの改善などに引き続き取り組んで参ります。
- 協会活動に利用者目線のニーズを反映させると共に、「認知度向上」の取り組みを充実させるために、「マーケティング委員会(仮称)」の設置も検討して参ります。
- NBAA BACE につきましては各会員が独自に出展する状況を鑑み、協会としての出展は控え、会員のサポートを行います。
- ビジネスジェット関連のステークホルダーとのネットワーキングを充実させます。
- 機会を捉えた広報活動を推進し、協会 HP の見直しを検討します。
- 講演会、勉強会に積極的に参加して普及活動を実施します。

(\*1)「マーケティング」とは営業活動ではなく、機能的価値が高いビジネスジェットについて会員ならびにマーケットとのコミュニケーションを活発に行うことによる啓蒙活動を指します。

### 会員に対する取り組み

- 専門委員会を含めたあらゆる機会を通じて「会員ニーズの把握」、「諸課題の解決」に向けた継続的な取り組みに努め、協会活動に対する会員の理解促進につなげていきます。
- 会員の多様化が進む中、「会員同士の相互理解」と「協会活動への参画意識の向上」を目指した協会運営に努めます。

以上

令和6年4月22日

## 令和6年度 収支予算書

自令和6年4月1日 至令和7年3月31日

一般社団法人日本ビジネス航空協会

(単位:円)

科目	令和6年度予算	令和5年度実績	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常収入の部</b>			
① 入金収入	80,000	50,000	30,000
② 会費収入			
正会員会費収入	10,668,000	¥10,783,500	▲ 115,500
賛助会員会費収入	258,125	262,500	▲ 4,375
個人会員会費収入	63,000	63,000	0
③ 事業収入			
調査・研究事業	0	0	0
ABACE・NBAA	0	0	0
IS-BAO監査	0	0	0
バナー広告	700,000	700,000	0
④ 寄付金収入			
寄付金収入	0	0	0
⑤ 雑収入			
懇親会会費収入	260,000	259,000	1,000
受取利息	300	238	62
雑収入		0	0
<b>経常収入計</b>	<b>12,029,425</b>	<b>12,118,238</b>	<b>▲ 88,813</b>
<b>2 経常支出の部</b>			
① 事業費			
調査・研究事業	1,000,000	0	1,000,000
ABACE・NBAA	0	0	0
IS-BAO監査	0	0	0
マーケティング関連	2,000,000	328,031	1,671,969
② 管理費			
1) 委託費			
a. 業務委託費	3,600,000	3,560,000	40,000
b. 事務局費	303,600	303,600	0
2) 旅費交通費			
a. 日常交通費	300,000	307,351	▲ 7,351
b. 国内出張費	800,000	761,460	38,540
c. 海外出張費	1,500,000	270,365	1,229,635
3) 通信運搬費			
a. 電話/ネット料	250,000	201,905	48,095
b. 郵便/輸送費	30,000	15,115	14,885
4) 会議・交際費			
a. 総会関連費	1,000,000	639,594	360,406
b. 会議費	600,000	317,615	282,385
c. 交際費	500,000	392,120	107,880
5) 会費	840,000	962,628	▲ 122,628
6) 法務関連費	100,000	82,510	17,490
7) 公租公課	72,000	70,036	1,964
8) IT関連費			
a. ソフト、サーバー費	200,000	162,693	37,307
b. HP関連費	1,500,000	0	1,500,000
9) 消耗品費	60,000	10,342	49,658
10) 印刷製本費	130,000	21,080	108,920
11) 図書新聞費	130,000	118,800	11,200
12) 水道光熱費	12,000	8,942	3,058
13) 地代家賃	1,100,000	998,100	101,900
14) 諸手数料	150,000	93,380	56,620
15) 雑費	250,000	158,290	91,710
16) 減価償却費	0	0	0
17) 貸倒損失	0	0	0
<b>経常支出計</b>	<b>16,427,600</b>	<b>9,783,957</b>	<b>6,643,643</b>
<b>当期経常収支差額</b>	<b>▲ 4,398,175</b>	<b>2,334,281</b>	<b>▲ 6,732,456</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>20,291,824</b>	<b>17,957,543</b>	<b>2,334,281</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>15,893,649</b>	<b>20,291,824</b>	<b>▲ 4,398,175</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>正味財産期末残高</b>	<b>15,893,649</b>	<b>20,291,824</b>	<b>▲ 4,398,175</b>